

いじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子どもたちにも、起こりうる、最も身近で深刻な人権侵害です。私たち大人が毅然とした態度で問題に取り組み、子どもたちとの信頼関係を築くこと、そして「いじめ」に苦しむ心情を自分のこととして重く受け止めることが大切です。

いじめの根絶を目指して、家庭、地域、学校が手を携えて、だれもが安心して豊かに生活のできる真和志小学校にしていきたいと思います。

いじめとはどんな行為でしょう

冷やかしか
からかい ①

ぶつかる
たたく ②

いやなこと
させられる ③

仲間はず
れ無視 ④

金品ばかり、
隠す、こわす ⑤

ネット上の
いじめ ⑥

○ 1, 2の「からかい・悪口」など、ことばによるいじめの訴えが全体の75%をしめています。(H29年度いじめの認知割合)

○ ネット上のいじめは、件数及び構成比は低くなっています。しかし潜在化している可能性もあり、注意が必要です。

いじめについて学校はどんな対策をとっているのでしょうか

1 「真和志小学校いじめ防止基本方針」の策定

→ 学校ホームページ

2 いじめ防止対策委員会の設置

委員：校長、教頭、教務、生徒指導、養護教諭、学級担任、教育相談、スクールカウンセラー、小中アシスト、SSW、PTA代表、地域代表等

3 いじめを発見することのできる教師、いじめは絶対に許さないという学級づくり。

4 子どもの個性や特性を認め、自分に自信の持てる教育の推進

5 いじめアンケート(心のアンケート)、教育相談で子どもの悩みに寄り添う力を入れます。

5 いじめ解決にあたっては、正確な事実確認を行い、保護者と連携しながら、適時・適切に対応していきます。

6 学校だけでなく、保護者や地域との協力体制を確立します。

7 子ども達自身による「いじめ撲滅スローガン」づくりや「いじめ撲滅宣言」の実施

いじめをなくす リーフレット

2018年版

那覇市立
真和志小学校
いじめ防止
対策委員会

いじめをなくすために、学校で実践すること、家庭でできることを共に取り組んでいきましょう。



わが子がいじめられていたら

□ 子供をいじめから、全力で守りましょう

● 事実を丁寧に聞き、辛い気持ちをまず受け止めましょう。

● 子供の心と体を守ることを第一に考え味方であることのメッセージを伝えましょう。

● 学校(担任の先生)へ連絡しましょう。

わが子がいじめていたら

□ なんとかしてもいじめをやめさせましょう

● いじめは絶対に許されないことを伝えましょう。

● 学校(担任の先生)に連絡しましょう。

● 親が真剣に謝る姿をみせましょう。

● いじめの本質的な原因を捉え、いじめを起さないための必要な支援を行いましょう。

わが子が傍観者であったら

□ いじめを容認しない強い意志を示しましょう

● いじめをはやしたてたり、見てみぬふりをしたりすることは、いじめと同じであることを伝えましょう。

● 学校(担任の先生)へ連絡しましょう。

● 今後どういう行動をとればいいのか、親子で考えましょう。

家庭にお願いしたいこと

● 学校行事やPTA活動、地域行事に積極的に参加し、保護者同士、大人同士の関係をつくりましょう。多くの大人たちが、子どもを見守る環境をつくりましょう。

● 子どもの様子にアンテナを高く張りましょう。子どもと過ごす時間をつくり、安心と自信を育てていきましょう。

● 「地域の子は地域で育てる」の考えに立ち、みんなで指導・支援していきましょう。

● スマホ等SNSを与える場合は、ルールを決め正しい使い方への責任や約束を決めましょう。